

～日常生活能力をチーム・地域で共有する！「機能的自立度評価法*FIM」～

【本セミナーの概要】

「この人はどれくらい、自分で着替えができるのかな？」
「この人はどれくらい、トイレ動作の介助が必要なの？」

みなさんは、対象としている利用者の方々の日常生活動作の能力をどのようにスタッフと共有していますか？

介助量が多い、少ないというのはスタッフの介助技能、感覚によっても異なってしまいます。「あの人は介助量がそう大きくない」と聞いただけで、実際は介助量が多かった（少なかった）という経験、ありませんか？

チームの中で、

○日常生活動作能力を「もれなく」

○お互いが共有出来る形で

○職種を越えても伝わるように

○簡便に判定できたなら?????

こんな便利なことはありませんよね？

そんな困った状況を解決してくれるツールが

「FIM（フィム：機能的自立度評価法）」です。

地域包括ケア体制や、病院の機能分化によりこれまで以上に職種、施設を越えた情報共有が必要となります。

出雲圏域ではこのFIMが日常生活動作の能力を共有するための基本的なチェックツールとして用いられることとなります。

そこで、出雲リハケアネットでは皆さんの施設にお伺いして、専門家がその概要や使用方法をお伝えする「訪問セミナー」を企画しました。

ぜひこの機会に、FIMを使い始めてみませんか？

【はじめてFIMに触れる方でも安心の講義内容】

- 機能的自立度評価法（FIM）ってどんなもの？
- 日常生活能力を点数化しちゃおう
- どうやって使うの？～動画を使った実践方法～

【リハケアネットならではの特典】

- ・受講者には出雲圏域版FIMポケットマニュアルを配布します。
- ・受講施設にはセミナー修了後「認定証」を交付します。
- ・修了後は「出雲圏域リハビリテーション資源マップ」に受講済み施設として掲載します。
- ・修了後は実際に施設に導入・維持できるように出雲リハケアネットがフォローアップします。

【講師陣は専門家が務めます】

- 森脇拓郎（斐川生協病院 理学療法士）
- 曾我部雅也（出雲市立総合医療センター 理学療法士）
- 板倉聡宏（出雲市民リハビリテーション病院 理学療法士）
- 三島佳祐（出雲市民リハビリテーション病院 理学療法士）
- 福代大輔（出雲市民リハビリテーション病院 作業療法士）
- 伊藤大輔（高鳥クリニック 理学療法士）

受講料：有料

（詳細検討中。平成28年度以降より：1施設1回あたり90分）

 **無料**

（平成26～27年度に受講される場合、
島根県在宅医療連携推進事業により全額補助します。）

■申し込みは裏面をご覧ください■

■出雲リハケアネット訪問セミナー 申し込み方法■

【お申し込みにあたって】

- ・申し込みは本日（3月13日）から開始し、5月より施設への訪問セミナーを開始します。
- ・訪問は先着順です。申し込み後に日程を調整させていただきます。申し込み多数の場合はしばらく待つて頂くことがあります。
- ・本セミナーは施設毎の受付とさせていただきます（1名の施設でも可とします）。
- ・各種勉強会グループへ出張も行いますが、その場合は10名以上のグループでお申し込み下さい。
- ・本セミナーは共通の資料を利用して実施しますので、講師による内容の違いはありません。

（受講に関する制限事項）

- ・同時に受講できる人数は最大50名までです。
- ・出雲圏域外からの申し込みも可能ですが、出雲圏域の施設を優先させていただきます。
- ・会場は受講者の方が収容できるスペースがあれば問題ありません。
（プロジェクター、スクリーンなどが準備出来ない場合、当方から持参しますのでご安心下さい）

申し込みは、下記を明記の上、
出雲リハケアネット事務局までお申し込み下さい。

【記載事項】

- ①施設名
- ②受講者数
- ③代表者氏名
- ④代表者連絡先（電話、メールアドレスどちらでも可）
- ⑤参加者名簿
（氏名と職種を記載して下さい）
- ⑥備考
（受講に関するご質問があれば併記してください）

セミナーではFIMが簡単に採点できる
「FIMポケットマニュアル
（出雲圏域版）」を配布します



■出雲リハケアネット事務局■
（出雲市民リハビリテーション病院：担当 三島）

〒693-0033 出雲市知井宮町238

TEL 0853-21-2733 FAX 0853-24-2906

E-mail : rehacarenet-izumo@izumoriha-hp.or.jp